

◆ 平成28年度事業実施

JAなめがた甘藷部会連絡会 (行方市)

取組概要

カンショ重量選別機の導入による 農繁期における生産者の出荷作業負担軽減の取組み

◆ 取組区分 ブランド化

事業実施前

連絡会では、平成17年頃から良食味焼き芋の販売に取り組んだ結果、カンショの需要の掘り起しに成功し、年々販売を伸ばしてきました。焼き芋需要が伸び、カンショの消費拡大が進む中で、一年を通して食味の良いカンショが求められるようになってきました。

しかし、カンショの生産においては、5-6月は植付作業、10-11月は収穫や貯蔵作業が最優先となり、選果・選別といった出荷作業に手が回らず、毎年この時期の出荷量が減少していました。

品種	出荷時期(月)						
	8	9	10	11	12	1	2
紅優甘(8月~1月中旬)	←→						
紅まさり(9月中旬~4月中旬)	←→						
紅こがね(1月~8月)	←						→

表1 JAなめがた“焼き芋”品種別カンショ出荷スケジュール

取組の内容

農繁期における出荷量の安定化に向け、連絡会がカンショの重量選別機を導入し、通常では生産者各々が行う出荷作業の受け皿となり、生産者からの出荷作業受託に新たに取り組みました。

連絡会が出荷作業を受けることで、カンショ栽培における労働時間の約半分を占める選果・選別等の出荷作業の負担を軽減することを目指しました。

生産者が、農繁期に挿苗や収穫作業に集中できる体制を構築することで、より一層、カンショの周年安定供給の推進を図りました。

事業費補助を活用した経費

- ・カンショ重量選別機購入費

取組の成果

平成29年6月現在で既に当初目標を上回る生産量となっており、カンショ生産における省力化や生産規模の拡大につながりました。

また、外部専門家を招き、重量選別機の操作説明を受けたことで、効率的な運用を学びました。

JAなめがた甘藷部会連絡会のカンショ生産量及び売上

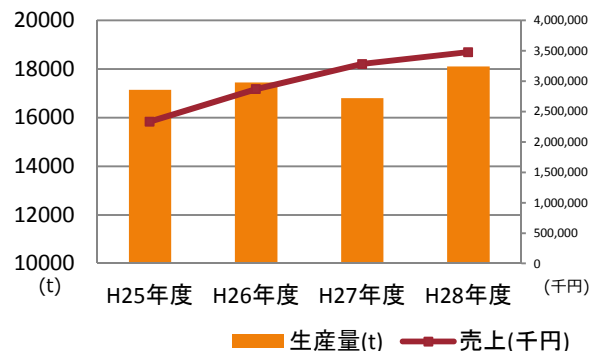


写真1 重量選別機を活用したカンショ出荷作業の様子

今後について

今後は、良食味カンショの周年安定供給体制を強化し、消費者から信頼、評価され選ばれる産地の形成を目指すとともに、関係機関と連携しながら、産地が一体となった生産拡大戦略を進めていきます。